第2号

令和3年9月22日 相模原市教育セン

GIGA スクール構想の推進に伴うタブレット PC 等の整備により、義務教育段階の学び方が変わり 始めています。さがみはら GIGA スクール通信では、相模原市立小中学校等が取り組む、新たな学び の姿をレポートしていきます。第2回は小学校2年生の様子をお届けします!





- ▲児童は、それぞれが撮影し たいきものの写真を次々 とはりつけています。
- 個々で画面に向かっては いますが、必要なときはお 互いに相談しながら行う 様子が見られます。

最後はいくつかのグルー プがプレゼンテーション √を行いました。



みんなでマップを編集しよう!

7月、大沢小学校の2年生は、生活の授業でタブ レット PC を活用していました。学習課題は「大さ わ夏マップをつくろう」。1年生たちは、入学して からまだわずかで、学校の敷地内にどんないきも のがいるのかを知らない。そこで、そのことを教え てあげるためのマップづくりを行う単元です。

この時間は、前時に大沢小学校の敷地内で、1人 1台のタブレット PC で撮影した「いきもの」の写

真を使い、4人グループで 1枚「大さわ夏マップ」を、 タブレットPCの「Google Jamboard」を使って作成 していました。児童は個々 のタブレットPCで同じマ ップ画面を開き、それぞれ



Google Jamboard

が撮影したいきものの写真を共同編集しています。 グループの真ん中に紙やホワイトボードを置いて 作業をしようとすると、作業に加われない児童が 出てしまうこともありますが、タブレット PC の 共同編集を使うことで、皆がグループでのマップ

づくりに参加できていまし た。さらに、つくったマップ を大型提示装置に投影し、 みんなの前でプレゼンテー ションを行いました。立派 な発表の様子から、情報活 用能力が育成されている様 子がうかがえました。



手作りのアイコン 掲示物。授業で黒板 に貼り使います。

1人1台端末を使い相模原市立学校で育成する情報活用能力の各要素(小学校2年生段階)

発達の	情報活用標準スキル				101 洋田標準コナル	プログラミング教育			情報セキュリティ・モラル		
段階	課題	収集	吟味	表現	ICT 活用標準スキル	知識及び技能	思考九、抖動九、左腿劫等	字/21向/rit, 大翻等	心をたがやす	知識を身に付ける	
2年	2- (1) ○知りたいことを決めよう ・はっけんしたことをカードに言こう ・にているもの同士なかま分け をしよう	2-(2) 〇えらんで、くわしくしらべよう ・デジタルカメラで激影しよう ・ホームページなどで情報を集め よ。	2 — (3) ○収集した情報を分類し、比べる ・あつめたことを分けたり、くら べたりしてみよう	デジタルカメラを活用して紹介 する紹介するときの順番を考える	・検索エンジンにキーワードを入力する・デジタルカメラで撮影する・デジタルカメラで撮影したデータを	身近なコンピュー タや、それが手順 によって動きが達 うことへの気付き	カ	よさを主体的に	ルやマナーを知る ② 人の作品を大切にする B - (6) 様似、思	回信 ササルで考えを出し	情報機器は大人と 一部に使い、危険 に近づかない② 情報等器は大人と一 緒にせい、名称に近 づかない②

1人1台環境の学びにチェンジする取組



▼は、でからでは、 タブと見しまででするでいるでは、 管理い家手まにでは、 を変しまでがまれるではます。 と庭提すでは、 につ袋他方までいます。

朝学習の時間である。

対している。

対いている。

がいるでは、

はいるでは、

はいるではいるでは、

はいるでは、

はいるでは、
はいるでは、
はいるでは、
はいるではいるでは、
はいるではいるではいるでは、
はいるではいるではいるでは、
はいるではいるではいるでは、
はいるではいるでは、
はいるではいるではいるではいるではいるでは、



他の2年の学級ではこんな活動をしていました





- ▲国語では、考えたスイミーの続きの話を劇仕立てにして、グループで動画撮影をしていました。
- **▲**5分休みには、あちこち でプログラミングを自主 学習する児童が見られま した。Scratchを使いこな す児童もいてびっくり!

こうして実現!1人1台活用の工夫

大沢小学校のこの取り組みは、どのような工夫で実現されているのでしょう?2年2組担任の荒木和人先生にインタビューしてみました。

タブレット PC を使えるようになるための工夫 と、おすすめはありますか?

低学年のうちから機器を使わせようと考え、まずは使わせてみることに取り組んでいます。操作説明の際には、マークやアイコンで示すと子どもたちに伝わりやすいです。Jamboard は低学年でもいろいろなものに活用できて、操作の練習になります。また、Viscuit はプログラミングの入門として最適です。

児童が上手に使えるようになるために、どのよう に約束をつくっていますか?

3つの約束を設けて教室に掲示し、意識付けを 行いました。今の時期は具体的な約束として、教員 や友だちの話を聞くときはタブレット PC を閉じ る、ということを徹底しています。

最初のうちはトラブルがあったと思いますが、ど のように解決しましたか?

つながりにくい、などのちょっとしたトラブルで子どもたちが不安になり、教室が大騒ぎになることがありました。そこで、子どもたちがある程度操作を覚えるまでは、仕方の無いことかな、と割り切りました。しばらくすると、できる子が増え始め、自然に子どもたち同士で教え合うようになりました。また、クラスで1つのJamboardを共有したときに、友だちの付箋や写真を触ってしまう、消してしまうこともありました。しかし、約束の徹底と共に、なるべく少人数で共有するなど、データの数を増やすことで減ってきています。

1人1台環境の学びで期待していること、児童に期待していることはなんですか?

子どもたちが、「これだったら、タブレット PC でできそうだね!」と自分たちでアイディアを出せるようになってほしいです。そして、ゆくゆくは、場面によって、タブレット PC を使うのがいいのか、ノートや対話の方がいいのかと、自分で考え選択できるようになってほしいです。